

令和7年度

第10回 はばたけ未来の吉岡彌生賞

受賞作品 概要

掛川市・掛川市教育委員会・東京女子医科大学

目次

■ 小学生の部	1
■ 中学生の部	8
■ 高校生の部	15
■ 事業概要	22
■ 応募状況	23

よしおかやよい
吉岡彌生 明治4（1871）年 - 昭和34（1959）年
静岡県掛川市出身

医師を目指して東京の済生学舎で学び、日本で27番目の女性医師となる。故郷で開業した後、医学の本場ドイツへの留学を夢見て再び上京。上京後はドイツ語を学びながら医師としても活躍していたが、母校の済生学舎が女子学生の受入れを拒否したことを機に、東京女子医科大学の前身である東京女医学校を創立。医学教育の他、さまざまな要職を務め、女性の社会的地位向上に大きく貢献した。



小学生の部

賞	研究作品名	氏名	学校名	学年
最優秀賞	暑さ対策「涼しい家づくりの工夫」	岡戸 瑛亮	菊川市立堀之内小学校	4年
優秀賞	ダウン症のある妹も住みよい社会に2	松本 都代	掛川市立土方小学校	3年
優秀賞	私が考えたさつまいもの苗づくりの研究	岡戸 碧唯	菊川市立堀之内小学校	2年
奨励賞	コンポストの研究3	山下 晏寿	浜松市立篠原小学校	5年
奨励賞	セミと環境 part5	飯尾 明香里	浜松市立雄踏小学校	6年
奨励賞	クワガタを助けない	森岡 正道	吉備中央町立加賀南小学校	4年

小学生の部 最優秀賞

研究作品名 [分野]	暑さ対策「涼しい家づくりの工夫」[理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	おかど えいすけ 岡戸 瑛亮		
学校名	菊川市立堀之内小学校	学年	4年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	2024年の夏は今までに経験したことがないような暑さが続き、本当に暑かった。そこで、「涼しい家づくり」を研究テーマにし、できるだけエアコンや扇風機を使わないで自然の力や材質(素材)をうまく活用した家づくりができないかと考えた。そこで、モデルハウスを実際に作り、室内の温度変化を調べることで、涼しい家の条件を見つけたいと思った。		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	熱吸収についての色々な実験結果から、自然素材の素晴らしさや昔の人の知恵の素晴らしさを改めて実感した。また、地球温暖化は思った以上に難しく、なかなか解決しない問題であると思った。		
研究作品を仕上げるまでに苦労したこと	実験は天候に左右されやすく、実施・記録することが難しかった。2回以上同条件下で行うことで、データをとった。白川郷の屋根づくり(藁を束ねること)が大変だった。		

小学生の部 優秀賞

研究作品名 [分野]	ダウン症のある妹も住みよい社会に2 [健康・福祉]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	まつもと とよ 松本 都代		
学校名	掛川市立土方小学校	学年	3年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	ダウン症の妹が大きくなり、人に興味が出てきたと同時に誤解されることも増えてきた。妹のこと、障がいのある人のことを知ってもらい、誰もが住みよい社会にしたいと思い取り組みをスタートした。		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	「すずちゃんののうみそ」「あいちゃんのひみつ」で有名な竹山美奈子さんと呼んで「障がい理解」講演会を開いた。		
研究作品を仕上げるまでに苦労したこと	開催のための資金集め、竹山さんとの打合せ、参加者を集めることに苦労した。		

小学生の部 優秀賞

研究作品名 [分野]	私が考えたさつまいもの苗づくりの研究 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	おかど あおい ----- 岡戸 碧唯		
学校名	菊川市立堀之内小学校	学年	2年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	さつまいもの種を蒔くのではなく、苗を畑に植えて作っている。毎年さつまいもを祖父の畑で掘っているが、一つの苗から成長した苗は何本にもなり、たくさんの根を付けていることに驚いた。そこで、冬に小さなさつまいもの芽を大切に育てれば、春にさつまいもの苗（いもづる）ができるのではないかと考え実験した。		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	土の種類や栽培条件を変えて実験することで、さつまいもがよく育つひみつを発見することができた。		
研究作品を仕上げるまでに苦労したこと	冬の間寒さが厳しくなり、苗を育てることが大変だった。また、苗づくりでカビが生えた時が困ってしまった。		

小学生の部 奨励賞

研究作品名 [分野]	コンポストの研究3 [環境]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	やました あんじゅ ----- 山下 晏寿		
学校名	浜松市立篠原小学校	学年	5年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	<p>生ごみが土に変身するのが不思議だったからコンポストの研究を始めた。生ごみごとのにおいとまぜる材料でにおいがどう変わるのか。そして、みんなが生ごみのにおいをどう感じるのかを知りたい。</p> <p>においがあまりしないコンポストを作ろうと思った。</p>		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	<p>においの強さは人によって感じ方が大きくちがい、同じサンプルでも「強い」と答える人と「弱い」と答える人がいた。</p> <p>つまり、においの少ないコンポストを作るためには「ごみの種類を工夫すること」「においをおさえる材料をまぜる」「使う人の感じ方に合わせる」ことが必要だと分かった。</p>		
研究作品を仕上げ るまでに苦労した こと	<p>かびたもののにおいを毎日かぐのがいやだったこと。</p> <p>「モニタリング調査」でコンポストのにおいはくさいにおいだから誰も協力してくれなかったらどうしようという不安やこんなくさいにおいをかがせてと怒られないか心配だったこと。</p>		

小学生の部 奨励賞

研究作品名 [分野]	セミと環境 part5 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	いいお あかり		
	飯尾 明香里		
学校名	浜松市立雄踏小学校	学年	6年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	<p>小学2年生の時に初めてセミの羽化を見たことをきっかけに研究を始めた。今年度で5年目となる。昨年度、セミの羽化がらが降水量の多い県と少ない県で、色の濃さが異なると分かった。このことに疑問をもち、なぜ羽化がらの色の濃さが変わるのか不思議に思ったから。</p>		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	<ul style="list-style-type: none"> • 降水量が多いと、土の酸度が上がる。土が雨水を含み、土の中にいる幼虫のからにその成分がしみこんで色が濃くなること。 • 5年間の調査により、羽化する場所の環境によって、数が変わること。 		
研究作品を仕上げるまでに苦労したこと	<ul style="list-style-type: none"> • 毎週土曜日（6月から欠かさず）に羽化がらの採集に行ったり、年間降水量の多い高知県や年間降水量の少ない山梨県に行ったりする事が楽しかったけれど、大変だった。 		

小学生の部 奨励賞

研究作品名 [分野]	クワガタを助きたい [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	もりおか まさみち ----- 森岡 正道		
学校名	吉備中央町立加賀南小学校	学年	4年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	食べられて死んでいるクワガタが電灯の下にたくさん落ちているのを何度も見つけた。電灯に集まったクワガタが朝になって逃げ遅れたと考え、クワガタが隠れる家を作って守ろうと思った。		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	涼しい家が好き。隙間 10 mm で縦置きの子イの家が好き。 オスの方が光に集まりにくく隠れるのが好き。 豆球の 3 分の 2 くらい LED にも集まる。明るくなるまで家にほとんど隠れる。		
研究作品を仕上げ るまでに苦労した こと	4 時半に起きて観察するのが眠くて大変だった。 保冷剤を発砲スチロールの箱に入れ忘れてたくさん死なせてかわいそうだった。 豆球に電池をたくさんつなげたら、豆球がくろくなって電気がつかなくなった。		

中学生の部

賞	研究作品名	氏名	学校	学年
最優秀賞	カイロを最も温かくする方法	山川 奈々美	京都市立西京高等学校 附属中学校	2年
優秀賞	ネコの毛がよく付く生地 の素材と取れやすい素材の謎!	吉井 幸穂	千葉市立若松中学校	2年
優秀賞	草ひもの強度と 編み方などの工夫との関係②	樽木 希	京都市立西京高等学校 附属中学校	2年
奨励賞	STOP 地球温暖化! part7	飯尾 暁太	浜松市立雄踏中学校	3年
奨励賞	カラスの研究5	山下 瑞喜	静岡県立浜松西高等学校 中等部	1年
奨励賞	バターをつくりやすさの違い	宮川 紗良	京都市立西京高等学校 附属中学校	1年

中学生の部 最優秀賞

研究作品名 [分野]	カイロを最も温かくする方法 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	やまかわ ななみ ----- 山川 奈々美		
学校名	京都市立西京高等学校附属中学校	学年	2年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	<p>実験1の動機として学校で化学変化による熱の出入りを調べるためカイロを作った。そのカイロより温かくするにはどうすればよいか疑問に思った。実験2は市販のカイロにバーミュキュライトが含まれていることを知り、役割を調べたい。実験3は家庭科の授業で布によって保温性が異なることを学び、カイロを包むのに適した布を知りたい。実験4は使い捨てカイロ以外のカイロを知りたい。</p>		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	<p>カイロの最高温度を高くするには鉄粉・活性炭・塩化ナトリウムの質量を増やす必要がある。塩化ナトリウムの質量を増やしてもそこまでカイロの温度は変化しない。バーミュキュライトには酸化反応を促進し、熱を持続させるはたらきがある。保温性よりも通気性のある布に包むとカイロは温かい。小豆カイロと米ぬかカイロが温かいが正確な結果ではない。</p>		
研究作品を仕上げ るまでに苦労した こと	<p>酸化反応が必ず起こるよう実験の方法を考えるのに苦労した。実験3はポリエチレン袋にカイロを入れて布をかぶせたため、すぐに温度が上昇しなかった。また、対照実験にするのが難しく、実験4では正確なデータを得ることができなかった。</p>		

中学生の部 優秀賞

研究作品名 [分野]	ネコの毛がよく付く生地素材と取れやすい素材の謎! [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	よしい さちほ ----- 吉井 幸穂		
学校名	千葉市立若松中学校	学年	2年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	我が家には3匹の猫がいますが、毛がよく抜けて、洋服に沢山付いてしまいます。手ではたけば、とれる服もあれば粘着テープを使わないと取れない服もあり、なぜ洋服によって違いがあるのか気になり調べてみたいと思ったからです。研究の目的はいろいろな素材を使って毛の付き方や取れ方を粘着テープとエチケツトブラシを使い、違いを検証する。3匹の猫による違いを検証する。		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	同じ素材でも毛がつきやすいものとつきにくいものがあり、それは生地表面の形状に違いがあることがわかりました。また、毛を取る検証でも同じ結果となりました。3匹の猫による違いについては毛の付く回数や取れる回数に大差はないということがわかりました。		
研究作品を仕上げるまでに苦労したこと	毛を採取するため、3匹の猫の居場所を探すも、それぞれいろいろな所にいたり、手の届かないところにいたりなど、なかなか毛を採取するのに時間と手間がかかったこと。		

中学生の部 優秀賞

研究作品名 [分野]	草ひもの強度と編み方などの工夫との関係② [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	たるき のぞみ		
	樽木 希		
学校名	京都市立西京高等学校附属中学校	学年	2年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	草むしり後に捨てられる大量の雑草を見て、うまく活用できないかと感じ、災害時のものの運搬に使えるひも作りを試みた去年の結果をもとに草の種類などの条件を変えて、さらに強いものにする工夫を調べた。		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	強度を上げるためには、①太い茎を水で濡らして使用すること②草によるのではなく四つ編みがよいこと③キク科がよいことがわかり、「オオアワダチソウ」の茎を濡らし、四つ編みにしたものの3本で三つ編みにするのがよいと分かった。		
研究作品を仕上げるまでに苦労したこと	多くのデータをとるために、たくさんの草ひもを作ることが苦労した。その際に、試料による差が出ないように、太さをそろえたり、長さをそろえたりするのが、大変だった。		

中学生の部 奨励賞

研究作品名 [分野]	STOP 地球温暖化！ part7 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	いいお こうた ----- 飯尾 暁太		
学校名	浜松市立雄踏中学校	学年	3年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	小学3年生の時に、大好きな白熊の住処が地球温暖化によりなくなっていることを知り、地球温暖化をSTOPさせるための研究を始めた。 地球温暖化を防ぐために私たちに何ができるか継続的に研究をしているが、今年度は、白色塗料の太陽光反射率や微生物燃料電池の発電率について、検証してみたいと思った。		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	<ul style="list-style-type: none"> • 白色塗料の中でも硫酸バリウムが最も太陽光を反射すること。理由は、硫酸バリウムの粒子が不均一で、熱を反射しやすいから。 • 微生物燃料電池は、田んぼの土や有機物が含まれた土で発電しやすいこと。 		
研究作品を仕上げるまでに苦労したこと	<ul style="list-style-type: none"> • 太陽光の日射を統一する方法が難しかった。 • コンクリートの面積、厚さ、質量（塗料を塗る量）を統一するために色々な店をまわったり、方法を考察したりする事が大変だった。 		

中学生の部 奨励賞

研究作品名 〔分野〕	カラスの研究5 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	やました みずき ----- 山下 瑞喜		
学校名	静岡県立浜松西高等学校中部	学年	1年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	<p>家の庭に来たシジュウカラのヒナが巣立った直後に目の前でカラスに食べられたことが衝撃的でカラスの研究を続けている。5年間182個ものペリットを集めてデータが集まったので、一度整理した。また、カラスの巣を5つ入手したので観察する。さらに、サーモグラフィーカメラでカラスの表面温度を測定が困難だったため、他の鳥で表面の温度がどうなっているか調べた。「食べ物・すみか・気候」において、カラスが都市に適應できる理由は解明すること。</p>		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	<p>カラスは人間の生活と強くかかわっていて、人間の出すゴミや自然環境に合わせて柔軟に対応していることが分かった。</p> <p>「食べ物・すみか・気候」のどれに対しても柔軟に対応しており、都市に適應できる理由はこの「変化への強さ」にあると分かった。</p>		
研究作品を仕上げるまでに苦労したこと	<p>季節によりペリットのある場所が変わるので、探すことに苦労した。</p> <p>夏にカラスを調査していて、熱中症になってしまったこと。</p> <p>たくさんの研究をしたので、文章にまとめることが大変だった。</p>		

中学生の部 奨励賞

研究作品名 〔分野〕	バターのとつくりやすさの違ひ〔理科〕		
氏名 (共同の場合は グループ名)	みやがわ さら ----- 宮川 紗良		
学校名	京都市立西京高等学校附属中学校	学年	1年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取 り組んだのか)	お菓子作りが好きだけれど、バターを使ってお菓子を作ることが多い。それでよく使うバターはどのようにとつられるのかなどを知りたくなつたからこの研究をすることにした。そして、よく使うものだからこそ手作りで健康によくできるように簡単な方法を知りたくなつた。		
研究の結果 (研究によりどんな ことがわかつたか)	バターのとつくりやすい方法は、高脂肪分のクリームで、小さめのびんを使い、20～50mLのクリームを少し冷やすと良い。実験するときの保冷剤の当て方や室温によつても変わると考えられる。		
研究作品を仕上げ るまでに苦労した こと	実験の条件をしっかりとそろえることを意識した。 生クリームをふるときのびんの大きさや量などの変えるもの以外を変えた。		

高校生の部

賞	研究作品名	氏名 グループ名	学校	学年
最優秀賞	剛体振り子の地震動に対する応答	吊り照明班	愛媛県立宇和島東高等学校	3年
優秀賞	トウヨシノボリ池沼型の形態学的特徴	山村 悌公	学校法人静岡理科大学 静岡北中学校・高等学校	3年
優秀賞	くずが力づくで冷やしてみた	公民1班	山口県立下関西高等学校	3年
奨励賞	ゲーミング反応での色の グラデーション変化	ゲーミング 反応班	静岡市立高等学校	2年
奨励賞	「認知症」にやさしい社会を 実現するために	青木 美暁	学習院女子高等科	3年
奨励賞	静岡県の地域医療における現状と課題	石牧 暖菜	浜松学芸高等学校	2年

研究作品名 [分野]	剛体振り子の地震動に対する応答 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	吊り照明班 島津 凜・井上直央・水谷心実・水口倅寧		
学校名	愛媛県立宇和島東高等学校	学年	3年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	南海トラフ巨大地震は、今後30年以内に起こることが予想されている。そこで、地震発生時の危険性を考えた際、教室の吊り照明が地震によって揺れ、落下の可能性があるのではないかと考えた。そこで、吊り照明の危険性、揺れを抑える構造の考察を行った。		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	実験Ⅰでは、並行設置方式は考察で算出した固有周期と一致し、垂直設置方式が照明の固有周期を小さくする影響があることが分かった。実験Ⅱでは、制振振り子を取り付けたことによる制振効果の実験を行った。制振振り子を取り付けにより振幅を低減する効果が期待でき、照明本体と同質量程度の制振振り子が最も効果を発揮すると分かった。		
研究作品を仕上げるまでに苦労したこと	最も苦労したことは、地震発生装置の製作をしたことだ。始めは車のように装置全体を前後させていたが、折り返すことで速度が低下し、揺れの周期を安定させることが出来なかった。そのため、モーター部分を土台と離し、クランク機構による回転の運動を揺れに変換するかたちとした。		

研究作品名 [分野]	トウヨシノボリ池沼型の形態学的特徴 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	やまむら ともき 山村 悌公		
学校名	学校法人静岡理工科大学静岡北中学校・高等学校	学年	3年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	日本の河川に広く分布するヨシノボリ属はハゼ科に属し、日本では約 17 種、静岡市内の巴川水系ではトウヨシノボリ等の計 6 種の生息が確認されている。その中で、トウヨシノボリは分類が混乱しており、現在トウヨシノボリの個体群は、形態的特徴が類似している橙色型、縦縞型、池沼型等 10 種以上が報告され、1つとされている種に対して複数の呼称が使用されてきた。そこで本研究では、池沼型の詳しい生息情報、生態情報と共に形質的特徴を分類に用いることが可能であるかを検討した。		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	巴川水系を中心とした現地採取調査では、トウヨシノボリ、シマヨシノボリ、カワヨシノボリ、オオヨシノボリ、ルリヨシノボリの計 5 種のヨシノボリ属を確認出来た。これら 5 種のヨシノボリ属と、琵琶湖で採取した旧オウミヨシノボリを観察した結果、静岡県に生息するトウヨシノボリ池沼型は頬の斑点模様の有無、第一背鰭の形状、尾鰭付け根の橙色斑の有無、また今回新たに検討した頭部感覚器官の形状などを検討した。その結果池沼型は、シマヒレヨシノボリまたはクロダハゼであり国内外来生物の可能性、ないし、トウヨシノボリ及び上記 2 種が静岡県内で独自の変異を遂げ出現した個体群の可能性の 2 つが考察できた。		
研究作品を仕上げるまでに苦労したこと	トウヨシノボリの分類学的位置の再検討を目的に調査する中で、情報の入手及び整理をするのに苦労しました。現在、トウヨシノボリの分類は 1 つの種に対して複数の呼称が使用されるなど名称上の混乱が生じており、これらに関する論文が複数報告されています。そのため、複数の論文の意見をまとめ、各論文の意図を読み取るのに苦労しました。また、静岡県内で報告されるトウヨシノボリ池沼型の分類を行う為には、他の個体群との比較は必須であります。他の個体群を確保するために、他県へ行き、限られた時間の中で目的であるトウヨシノボリの個体群を採取するのに苦労しました。		

高校生の部 優秀賞

研究作品名 [分野]	くずが力づくで冷やしてみた [環境]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	公民1班 印藤夢時・梶光裕衣・廣野絢萌・山下幸一郎		
学校名	山口県立下関西高等学校	学年	3年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	従来のグリーンカーテンは、オフィスビルや学校の校舎などの高い建物において、地上に植え高い位置まで成長させて作製するには不向きであった。そこで、葛の特性を生かして上から下へ成長させ、グリーンカーテンを作製する。		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	葛の植え替え実験を行い、培養土が最適であることがわかった。次に、学校の電気使用量のデータを基に、グリーンカーテンによって消費電力を大幅に削減できること、葛は制御することが可能であることが実験によりわかった。		
研究作品を仕上げるまでに苦労したこと	身近にある葛をグリーンカーテンとしての有効な利用する方法を考えること、他の植物を利用することよりも葛を使うことのメリットについて考察を進めることに苦労した。		

研究作品名 [分野]	ゲーミング反応での色のグラデーション変化 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	ゲーミング反応班 佐々木敬斗・山脇帆南		
学校名	学校法人静岡理科大学静岡北中学校・高等学校	学年	2年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	私たちは色の変化がある化学反応に興味があり、色の変化が美しく、マジックの手法として使われているゲーミング反応に興味をもった。調べてみると試薬の種類は少なく、量を調整することで色も変化させることができるようであったが、その反応について詳しく研究されているものが見当たらなかったため、自分たちで仕組みを解明したいと考え、研究を始めた。		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	ゲーミング反応が容器の形によって色の変化の仕方が変わるのは、容器に触れる空気に影響されるということが分かった。また、ゲーミング反応では、インジゴカルミンの酸化還元反応による緑色、赤色、黄色以外にインジゴカルミン自体が分解されて、うすい黄色の物質ができる反応も同時に起こるのではないかとということが示唆された。		
研究作品を仕上げるまでに苦労したこと	仮説を検証するための実験方法を考えるのに苦労した。私たちは、先行研究などを参考にゲーミング反応の色の変化を、ORP 電極を用いて電圧を測定してデータ化しようとしたが、グルコースによる還元にもなって下がる傾向は見られたものの、色の変化と電圧は連動しなかった。また、酸素の影響を調べるために、ビーズを使ったり、溶存酸素を測ったり、アルゴンや酸素などの気体で置換したりと色々な手法を試した。		

高校生の部 奨励賞

研究作品名 [分野]	「認知症」にやさしい社会を実現するために [健康・福祉]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	あおき みひろ <hr/> 青木 美暁		
学校名	学習院女子高等科	学年	3年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	2007年日本の高齢化率は21%を超え「超高齢社会」を迎えました。私たち高校生は生まれた時から超高齢社会を生きています。これからの日本を支えていく私たちが日本の現状を理解し何ができるのか考えるのは大切なことだと思っています。高齢化が進むことと「認知症」は切り離すことができません。誰一人取り残さない社会「認知症にやさしい社会」を実現するために、今私たちに何ができるのか認知症を取りまく社会や未来について考えました。		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	第1章では超高齢社会の今、これから向かう先でをテーマに、日本の高齢化の現状や世界の動向、将来推計など現状と未来を明らかにしました。また、認知症への認知度をアンケート調査し、応援者であるサポーター養成に向けて提案を行いました。第2章では高校生キャラバンメイトとして、認知症サポーター養成講座を高校で開催するまでの行政・企業・学校との連携についてまとめました。第3章では高齢化先進国スウェーデンとの国際比較から日本が学ぶことをテーマにスウェーデン省庁やOECD データを利用し考察しました。		
研究作品を仕上げるまでに苦労したこと	各省庁から発表・最新の研究データを読み込み、情報をグラフ化しながらひとつひとつ揃え、文章に説得性を持たせるため、どのデータをどの程度利用するのか構成を考えるのに時間を要しました。公のデータのみならず自らアンケート調査も実施し、得られた情報を正確に、そして丁寧にまとめることを心がけました。また、日本に限らず、OECD やWHO、スウェーデン省庁が発表するデータも利用したため語学力の大切さに気付かされました。		

高校生の部 奨励賞

研究作品名 [分野]	静岡県の地域医療における現状と課題 [医療・看護]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	いしまき はるな ----- 石牧 暖菜		
学校名	浜松学芸高等学校	学年	2年
研究の動機・目的 (なぜこの研究に取り組んだのか)	国内で地域医療の格差がささやかれている現状を踏まえ、県内での課題を発見し、今後の地域医療の在り方についての示唆を得るため。		
研究の結果 (研究によりどんなことがわかったか)	県内の医療体制には、医師不足や交通アクセスの制約、高齢化に伴う需要増大など、多くの問題が複合的に関連していることがわかった。また、その対策には包括的な対応が不可欠である。		
研究作品を仕上げるまでに苦労したこと	主にインターネットを利用して情報収集したため、多くのデータから情報を適切に読み取り、文章にまとめることが難しかった。また、順序立てて説得力のある文章になるよう心がけた。		

事業概要

趣 旨	日本の女性医師育成の礎を築いた吉岡彌生の業績を称え、郷土の偉人として、後世に伝え顕彰する。さらに、子どもたちの優れた研究に賞を与え、次代を担う子どもたちの夢と希望、こころざしを育み、世界に貢献する人材を育成する。		
主 催	掛川市、掛川市教育委員会、東京女子医科大学		
後 援	一般社団法人至誠会、公益社団法人日本女医会、一般社団法人小笠医師会		
募集内容	医療・看護、健康・福祉、理科、環境等に関する研究、論文、製作物品、実践レポート等を募集する。		
応募資格	小学生の部	中学生の部	高校生の部
	国内の国、公、私立の小学校、特別支援学校に在籍する児童で、募集内容に記載された研究を行った者	国内の国、公、私立の中学校、特別支援学校に在籍する生徒で、募集内容に記載された研究を行った者	国内の国、公、私立の高等学校、特別支援学校に在籍する生徒で、募集内容に記載された研究を行った者
応募方法	<p>作品に応募票を添えて、下記応募先へ送付または持参してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 作品（研究、論文、製作物品、実践レポート、意見主張文等） <ol style="list-style-type: none"> (1) 紙面作品（製作物品以外）の仕様は、A4版、A3版又はB4版を原則とすること。（原則であり、これ以外の仕様でも受け付けます。） (2) 紙面作品は、可能な限りにおいて、「研究の目的」「方法」「結果」「考察」「感想（思い）」の順にまとめること。 (3) 学校名、学年、氏名を記載すること。 (4) 引用文献等がある場合は、出典元を記載すること。 (5) 継続作品の場合は、当該年度分を審査対象とします。前年度までの分は概要等にまとめて提出してください。 2 応募票 所定の応募票（A4縦型1枚）を作品に添付すること。 ※ チラシ裏面又は掛川市吉岡彌生記念館ホームページ内に掲載 		
募集期間	令和7年8月1日（木）～9月19日（金）		

応募状況

応募総数 89件

(100) 前回

部門		分野					合計	
		医療・看護	健康・福祉	理科	環境	その他		
小学生	県内	2 (5)	2 (2)	16 (20)	1 (1)	1 (0)	22 (28)	24 (29)
	県外	0 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	
中学生	県内	0 (1)	1 (0)	4 (7)	0 (0)	0 (0)	5 (8)	35 (34)
	県外	0 (0)	0 (4)	30 (21)	0 (1)	0 (0)	30 (26)	
高校生	県内	0 (0)	0 (0)	5 (0)	1 (0)	0 (0)	6 (0)	30 (37)
	県外	1 (5)	5 (4)	14 (21)	3 (7)	1 (0)	24 (37)	
合計		3 (11)	9 (10)	70 (70)	5 (9)	2 (0)	89 (100)	